

台湾の人材確保へ熱

県フェアに若者集う

【松田良孝台湾通信員】台湾人の人材確保を目的に、初



「沖縄観光就職フェア in 台北」に集まった台湾の若者たち。4日午後、台北国際会議センター

の「沖縄観光就職フェア in 台北」（主催・県、沖縄観光コンベンションビューロー）が4日、台北市内で開かれた。県内14社がブースを出し、台湾人の若者160人が訪れた。

県は急増する外国人観光客に対応できる人材確保に向け、本年度から海外で就職フェアを企画。昨年11月には中国福建省でも開催した。

ダイビングサービス業のシーサーの担当者は「台湾の若者は積極的に就職意欲が高

く、日本語もうまい。（沖縄で人材を確保する）キーワードは『きれいな海』だ」と述べた。

ホテル業のカトープレジャーグループの担当者は「インバウンド対応のため、外国人スタッフを強化している。社内もグローバル化できる。台湾人の学生は親しみやすく、スキルも高い」と話した。

佐賀県に留学した経験があり、都内で1年間勤務したこともある女性(30)はリゾートホテルのブースで説明を聞き「自然がいっぱいあるところで働きたい。日本はどこもきれいで人が親切だが、沖縄は海がきれい」と話していた。